

# 平成30年度 学校経営の全体構想

## 〈学校の教育目標〉

確かな学力と豊かな心を持ち、心身共にたくましい筑南の子どもの育成  
合言葉「共に『かがやけ』筑南っ子！」

① 考える子

② 頑張る子

③ 優しい子

④ 健康な子

## 〈中期目標〉

ひともの・ことと豊かにかかわり、思考・判断したことを進んで表現する子どもの育成

### 《教育課題》

- ・主体的に学び、身につけた知識・技能をもとに、思考力・判断力・表現力を高める。
- ・思いやりと感謝の心を持ち、温かい人間関係を育てる。
- ・健康安全に留意し、体力を伸ばすと共に、最後まで粘り強く取り組む態度を育てる。

## 〈重点目標〉

友だちとかかわり合い、主体的に学ぶ子どもの育成

### 【経営の重点】

- ・確かな学力と学ぶ意欲を育てる授業づくり
- ・主体的に考え判断する力を育てる学級経営
- ・OJTの考え方を生かした組織力の向上
- ・教師の持ち味が光る企画・提案の工夫

### 《経営課題》

- ・主体的な学びを生み出す授業改善と指導力の向上をめざす。
- ・重点目標の具体化による学級経営の充実とOJTの推進を図る。
- ・組織の機能化と協働化による学校運営の活性化と職能成長を図る。
- ・小中連携の継続的・計画的な取組を進める。

### 主体的に学ぶ力を育てる教育課程編成

- 1 重点目標達成のため、重点教科を国語科・算数科とし、主体的に問題を解決する学習過程を重視する。
- 2 子どもの関心や意欲を高める題材を工夫し、主体的に学習に取り組む場や機会を位置づける。
- 3 総合的な学習の時間は、教科との関連を図り、探求活動を取り入れる。
- 4 学級活動において、必然性のある話し合い活動を行い充実させる。
- 5 ペアやグループ学習による交流を工夫し、友だちとかかわりを深める学習を展開する。
- 6 授業において、子どもが積極的に発言し、自分の意見を発信することができるよう時間を確保し、表現力を向上させる。
- 7 基礎学力の充実を図るため、効果的な週時程を作成し、運用する。

### 校内研修の充実

- 1 算数科を中心に主体的な学びを身につけさせる授業改善を目指す。
- 2 思考力や表現力の計画的育成を図る。
- 3 協同解決の場を工夫する。
- 4 一般研修で、特別支援教育、人権・同和教育研修を充実する。

### 運営組織と運営方法の改善

- 1 学校評価と連動し、校務の重点化による校務分掌組織を構築する。
- 2 教頭のリーダーシップ、主幹教諭の連絡調整による三推進部会と運営委員会、連絡会との関連化を図った組織的取組の推進を図る。
- 3 各推進部にPDCAサイクルを機能させ、子どもの生活行動改善のための方策を練る。
- 4 近接学年におけるメンターの指導・助言、校務分掌等における人材育成を行い、組織力の向上を図る。
- 5 養護教諭や生徒指導担当が核となり、教育相談や生徒指導が一層機能する校内体制を充実する。
- 6 日常的な報告・連絡・相談を徹底し、事案への迅速・的確・組織的な対応による危機管理の充実を図る。

## 信頼される学校づくり

### 《信頼される教師》

- 豊かな指導力を目指し、常に学ぼうとする教師
- 温かさや厳しさで子どもの成長を見届ける教師
- 熱意と使命感を持ち、豊かな感性で子どもに接する教師

### 《信頼される学校》

- 「わかる!」「できる!」充実感を持ち、共に学び合う学校
- 安心して学び、チャレンジできる活気のある学校
- 家庭・地域社会と共に子どもを育てる開かれた学校

### 《家庭・地域・幼保・中学校との連携》

- 学校安全に関する連携
- 地域振興会議との連携
- ひともの・ことの活用と地域行事への参加
- 幼保中との情報交換